

TREND MICRO

ServerProtect

ファイルサーバの情報資産を守るウイルス対策ソフトウェア

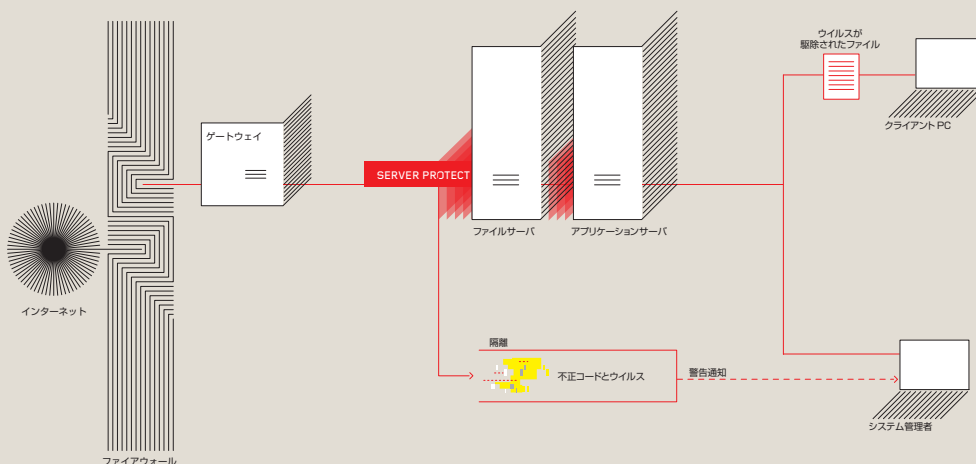
PROBLEM — 課題 —

企業では、さまざまなサーバを使用して大量のデータを保存、共有、配信しています。このような情報管理用のサーバが多様化し、広く利用されるようになった今日では、ウイルス対策製品の適切なインストール、監視、更新作業は、システム管理者にとってきわめて困難なこととなっています。最近では、ブロードバンドが急激に普及し企業のインターネット接続環境が充実してきたことに加え、NIMDA や CodeRed などの複合型ウイルスの出現により、ウイルス感染の被害が企業ネットワーク全体に影響を及ぼす危険性も指摘されるようになりました。こうした複合型ウイルスは、企業ネットワーク内のインフラで感染を拡大させるため、ネットワークから完全に駆除しなければ、1 台のサーバから企業ネットワーク全体が再感染する事態を招きかねません。

STRATEGY — 戦略 —

ServerProtect は、リアルタイムでのウイルス検索、ダメージクリーンナップ機能によって、これまで多大なコストが必要とされていたトロイの木馬型不正プログラムなどの不正コードの除去とシステムダメージの復旧を、簡単に行えるようになりました。システム管理者は、企業内のすべてのサーバのウイルス対策プログラムを 1 台の管理コンソールから実行、管理、アップデートすることができます。トレンドマイクロ エンタープライズ プロテクション ストラテジー (Trend Micro EPS) では、ウイルスの大規模感染 (アウトブレイク) が起きた場合、最新のパターンファイルが作成される前に、ServerProtect がインストールされたすべてのサーバに対して、アウトブレイクプリベンションポリシーを迅速に配信することで、被害の拡大を最小限に食い止めることができます。さらに、ダメージクリーンナップ機能を各サーバに配信し、自動的に実行させることで、ウイルスが引き金となって起きた感染後の様々な問題を解決できるようになりました。これまでシステム管理者が行っていた各サーバの復旧処理を自動化することができるため、ウイルス感染の復旧段階で必要とされていた多大な時間とリソース、コストを削減することが可能です。

- ◆ 集中管理による配信/管理/レポートによって、すべてのサーバの管理とアウトブレイクプリベンションポリシーの適用が容易に実行可能。
- ◆ 豊富なプラットフォームサポートによって、幅広いプラットフォームを採用するエンタープライズクラスの企業環境のウイルス対策に対応。



ServerProtect の仕組み

感染ファイル / 不正プログラムをリアルタイムで検出し、ブロックまたは削除することによってアプリケーションサーバ、ファイルサーバのウイルス感染を防止します。さらにシステム管理者に警告を送信することによって、ネットワーク内でのウイルスの状況を適切に報告します。

Trend Micro ServerProtect

信頼性の高い効率的なウイルス対策

- ◇ 数々の賞を受賞した、実績ある検索エンジンを採用。

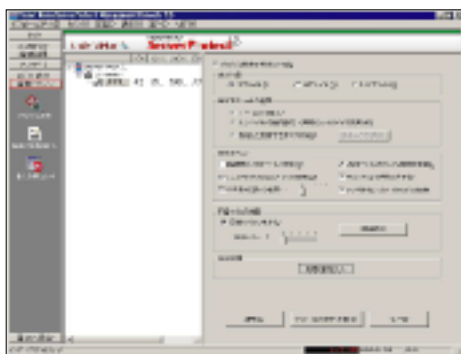
インストール/管理/レポートの一元集中化

- ◇ 主要な Windows と NetWare サーバをサポートし、リモートからのインストール機能を提供しています。
- ◇ 管理コンソールによるリモート/集中管理（システム監視、ソフトウェアのアップデート、サーバ上のウイルス対策の管理/設定、ログの集中管理等）が可能となります。
- ◇ Trend Micro Control Manager（トレンドマイクロ製品/サービスの企業全体での統合を可能とする管理コンソール）を使用して、複数の ServerProtect、さらには企業ネットワーク内のすべての Windows/NetWare サーバ上のウイルス対策製品の管理/アップデートを一元化することが可能です。

異種ネットワークに対するクロスプラットフォームプロテクション

- ◇ ServerProtect ファミリーとして Microsoft Windows Server 2003/2000/NT、Novell NetWare、RedHat Linux、Network Appliance filer、EMC Celerra など、幅広いサーバ/ストレージプラットフォームをサポートし、エンタープライズクラスでのウイルス対策を提供します。

▼ リモートサーバの管理を実現する管理コンソール



▼ ウイルスに応じた処理を設定可能



ウイルス解析・サポートセンター 「TrendLabs (トレンドラボ)」

24時間365日の強力なサポート

トレンドマイクロのウイルス解析・サポートセンター「TrendLabs」は、高度な技術水準と最新設備を備え、品質保証のISO9002認定を取得しているフィリピンセンターを本部として、米国、日本、台湾、ドイツ、フランスの各国センターで構成されています。「TrendLabs」では、ウイルス解析エンジニアを含む250名以上のスタッフが24時間体制でウイルスの活動を監視しており、セキュリティに対する最新の脅威に関する情報を収集し、迅速かつ効果的に高品質なサービスとソリューションを世界各国のトレンドマイクロのパートナーとお客様に対して提供しています。



TREND MICRO CONTROL MANAGER

企業のセキュリティ対策を強化するマネージメントソフトウェア

Trend Micro Control Managerは、様々なネットワーク階層におけるウイルス対策を、全社的なコンテンツセキュリティ戦略として統合します。システム管理者は、Webベースの管理コンソールを介して、どこからでもネットワーク全体のウイルス監視、ウイルスタイプやネットワーク環境に応じた予防対策の設定、セキュリティポリシーの策定、最新プログラムの更新などを行うことができます。

トレンドマイクロ エンタープライズ プロテクション ストラテジー (Trend Micro EPS)

この製品は、Trend Micro EPSの対応製品です。Trend Micro EPSは、ウイルスの発生から感染終息までをひとつの「ライフサイクル」とみなし、大規模感染に対応するアウトブレイクライフサイクルマネージメント機能を提供します。感染の予防、ウイルスへの対応、ダメージクリーンアップと復旧処理を、専門技術をベースとした製品、サービスレベルで提供します。Trend Micro EPSは、複合型ウイルスに対応したトレンドマイクロ独自のウイルス対策やコンテンツセキュリティにおける優れたアプローチです。

システム要件

サーバ

- 対応OS (各日本語版)
 - Microsoft Windows Server 2003
 - Microsoft Windows 2000 Server (Service Pack 1, 2, 3)
 - Microsoft Windows 2000 Advanced Server (Service Pack 1, 2, 3)
 - Microsoft Windows NT Server 4.0 (Service Pack 3, 6a)
 - Microsoft Cluster Server 2000/4.0
 - Microsoft Terminal Server 2000/4.0
 - Windows Powered NAS (Server Appliance Kit Ver. 2.0)
 - Novell NetWare 5.1, 6.0

機種

IBM PC/AT互換機

※システム要件の詳細及びトレンドマイクロ製品の詳しい情報は下記をご参照ください。

<http://www.trendmicro.co.jp/product/>

トレンドマイクロ株式会社

東京本社： 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1
新宿マインスタワー
TEL.03-5334-3650 (営業代表)
FAX.03-5334-6324

大阪営業所： 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-5-1
エプソン大阪ビル7F
TEL.06-6258-8091
FAX.06-6258-8092

名古屋営業所： 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-27
錦中央ビル10F
TEL.052-955-1221
FAX.052-963-6332

福岡営業所： 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-3-7
サンエビル7F
TEL.092-471-0562
FAX.092-471-0563

www.trendmicro.co.jp

■お問い合わせ先